

令和3年9月28日

川西市立学校 保護者様

川西市教育長 石田 剛

令和3年10月1日以降の川西市立学校における宿泊を伴う行事の中止について

今年8月20日に発令され、9月12日より30日まで延長された新型コロナウイルスの急激な感染拡大による4回目の緊急事態宣言は、国の方針の下9月30日をもって解除されることとなりました。これに先立ち、今年度市立学校において予定されていた修学旅行や自然学校の宿泊を伴う行事について、本市教育委員会より各市立学校に「令和3年10月1日以降の市立学校における宿泊的行事中止について」の文書を発出いたしました。

緊急事態宣言後の宿泊を伴う行事を楽しみにしていた児童・生徒や保護者におかれましては大変残念なお気持ちであるとは存じますが、今回この決定に至りました考え方について、以下にご説明させていただきます。

1. 市内の新型コロナウイルスの感染状況は第5波で新しい状況を迎え、児童・生徒にとっては未だに厳しい状況にあると考えています。

第5波と言われる緊急事態宣言が発令された8月20日前後から、幼児・児童・生徒の急激な感染拡大が顕著となりました。今まで感染の報告が少なかった低年齢の子どもたちにも感染が見られるようになり、濃厚接触者やPCR受検者も含めて第4波までにない人数の多さとなりました。その多くは家庭内感染であり、一部の施設におけるクラスターを除き、学校施設内における大きな感染拡大は幸いにも至らなかった状況でした。それでも近隣高等学校や幼児教育・保育施設にも感染者が出たため、市立学校にも影響が出る厳しい状況でした。

このように第5波における感染拡大は、今まで感染しにくいと言われていた子どもたちにも急速な感染の広がりが認められたという点で、感染拡大も新しい状況に入ったのではないかと危惧されるところです。

また、12歳以上の児童・生徒に対するワクチン接種は現在までのところ、その対象者の60%程度であり、感染防止の決め手とはなっていない状況です。

このように、現在新規の感染者数は急速に減少しているところですが、児童・生徒の感染状況については今後も慎重に見極め、段階的に緩和していくことが重要であると考えています。

2. まずは日常の学校における教育活動を円滑に進めていくことが大切であると考えています。

4回目の緊急事態宣言を受け、本市教育委員会では夏季休業を延長し、感染が不安である児童・生徒を対象に自宅での学習を進めることができるよう取り組みを行なっ

ました。各学校において状況は異なりますが、それでも 9 月 13 日から 9 月 17 日までの間約 5 %の児童生徒が緊急事態宣言下で自宅学習を行ってきました。

そういった状況の中、緊急事態宣言が 9 月 30 日をもって解除されることになりました。でも、まずは日常の学校での教育活動を円滑に進められるようにしていくことが急務であると考えています。新規の感染者が急激に減っている今こそ、学校教育の基本であり基盤である対面による授業を安心して進められる体制にしていくことが、最も重要なことであると考えています。

3. 児童・生徒の感染拡大を防ぎ、宿泊するための体制をつくることは現状では非常に難しいと考えています。

現在のところ、伊丹健康福祉事務所の疫学調査は症状が出る 2 日前の行動履歴を元に行われています。PCR 検査についてもその目的は症状が出た場合の感染の有無を確認するものであり、PCR 検査で陰性であった 2、3 日後に発症し感染がわかる例も見られます。そのような中で仮に発熱等の風邪症状が出た児童・生徒がいた場合、その児童・生徒本人の対応はもちろん、同じ部屋等で行動した児童・生徒をそのまま宿泊させるのかどうか、非常に難しい対応が必要となってきます。

同居する家族等に発熱等の風邪症状が出た場合、登校を自粛するようお願いしているところですが、同じような状況にもかかわらず、そのまま飲食したりマスクなしで睡眠を取ったりするような状況も考えられます。

また、宿泊を即時中止し、児童生徒全員をすぐに帰校させるような対応も考えられますが、時間帯や交通手段、そして発熱等風邪症状のある児童・生徒の帰校後の心情も考えるとかなり難しい選択となります。

もちろん、感染を防ぐために各学校では手指消毒やマスクの着用などの取り組みを行なってきていますが、それでも感染拡大を防ぐ万全の体制を敷くのは現状では難しいと考えています。

以上のような理由により、今回、宿泊を伴う行事の中止を各学校に指示させていただきました。川西市教育委員会事務局といたしましても、緊急事態宣言下からこの方針についてはあらかじめ各学校に伝達しており、継続的に小学校・特別支援学校校長会や中学校校長会とも協議を重ねてきました。

本来ならば、国や県の正式な対応を持って決定すべきところですが、以後の日程が迫ってきている学校もあり、本日付で保護者の皆さまにお知らせさせていただきました。児童・生徒たちに宿泊を伴う行事を体験させたいという保護者の方々や学校教職員の思いは理解いたしますし、教育委員会においても同様な思いであります。しかし、子どもたちの健康について安全・安心を第一義として考え、このような決定をさせていただきました。

よろしくご理解賜りますよう、お願いいたします。